第１
栃木県の歯科保健事業
（令和５年度実績）

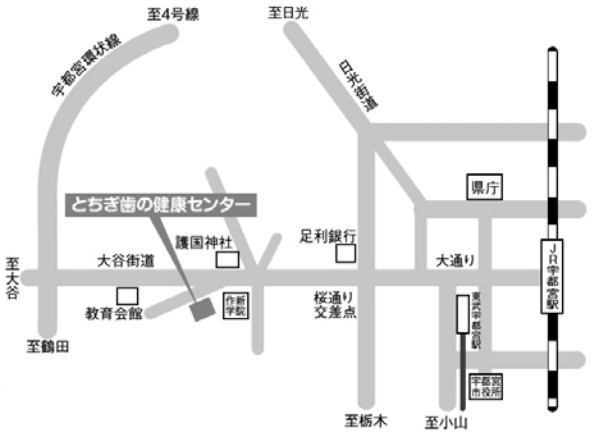
Ⅰ　とちぎ歯の健康センター

とちぎ歯の健康センターは、県民一人ひとりが歯及び口腔の健康について正しい知識を持ち、生涯自分の歯を守り、健康に過ごすことができるよう、県の歯科保健対策を推進する「歯の保健所」として、平成６（1994）年２月に開館しました。

（１）施設の概要

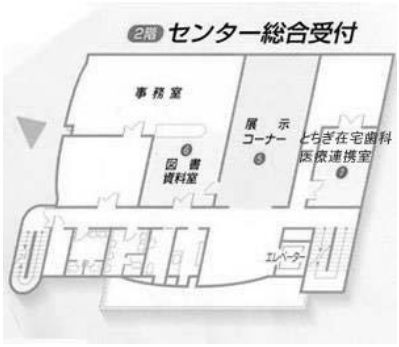
センターの１階には障害者歯科診療所、２階には図書資料室やとちぎ在宅歯科医療連携室、３階には研修室があり、各種歯科保健事業を展開しています。

・所 在 地　栃木県宇都宮市一の沢２丁目２番５号
・設置主体　栃木県
・運営主体　（一社）栃木県歯科医師会
・連 絡 先　TEL：028-648-6480
　　FAX：028-648-6483
・ホームページアドレス
　http://tochigi-da.or.jp/



とちぎ歯の健康センター平面図

１階平面図
① ロビー
② 受付
③ 治療室
④ ブラッシング室
（その他）待合室



２階平面図
⑤ 展示コーナー
⑥ 図書資料室
⑦ とちぎ在宅歯科医療連携室
（その他）事務室

３階平面図
⑧ 研修室
（その他）ブラッシングコーナー

（２）令和５年度障害者歯科医療の状況

１階の診療所において、障害者の歯科診療を行いました。

㈠ 診療体制

・診療日　　月曜日～金曜日（予約制）　※ 祝日・年末年始を除く

・診療時間　午前９時～12 時、午後１時 30 分～５時

・スタッフ

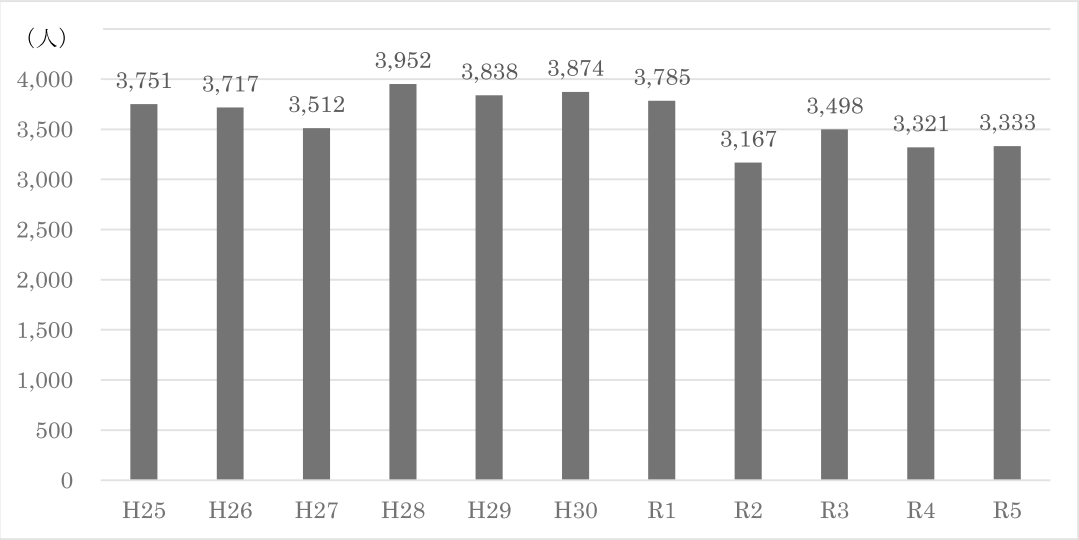
午前：歯科医師　　１名（常勤）
　　歯科衛生士　６名（常勤）

午後：歯科医師　　３名（常勤１名、輪番制診療実行委員２名）
　　歯科衛生士　６名（常勤５名、他１名）

㈡ 診療状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
診療日数（日）	20	20	22	20	19	20	21	20	20	19	19	20	240
延患者数（人）	305	270	291	255	255	294	297	266	268	277	259	296	3,333

㈢ 診療実績（延患者数）の年次推移



（３）健康相談

電話及び来所による歯科保健に関する相談を実施しました。

・受付時間：午前９時～午後４時 30 分

㈠ 相談件数及び相談内容別内訳

内容	治療内容について						予防指導	障害者等の歯科相談	その他	合　計
	むし歯	歯周疾患	抜歯	補綴	矯正	その他				
件数	10 件	０件	８件	17 件	６件	18 件	３件	０件	16 件	78 件

（４）普及啓発

とちぎ歯の健康センターの「展示コーナー」、「図書資料室」における各種資料の展示及び各種広報媒体を活用し、普及啓発活動を行いました。

㈠ 展示コーナー、図書資料室における資料貸出し状況

	図書	ビデオ・DVD	公衆衛生教材･展示物	生涯ライブラリー	合　計
貸出数	23 件(60 点)	30 件(96 点)	101 件(1,107 点)	0 件(0 点)	154 件

㈡　機関紙等発行

とちぎ歯の健康センターだより　第 30 号

㈢　視察研修

診療所及び展示コーナーの見学、センター事業の説明、研修、体験学習等

（５）歯と口の健康週間事業

歯と口の健康週間（６月４日～６月 10 日）等において歯と口腔に関する正しい知識の普及を図るため、県内 11 ヶ所において講話等を実施しました。

実施回数	対象者	参加者数
11 回	一般県民	776 人

Ⅱ　栃木県の歯科保健医療事業体系

区　分 （栃木県歯科保健基本計画施策体系毎）	事　業　名	ライフステージ					実施主体			
		乳幼児	小学・中学・高校生	成人	高齢者	障害者・要介護者	県	教育委員会	市町	関係機関
１ 歯や口腔と関係する病気等の予防の推進	栃木県口腔保健支援センター事業									
	県政出前講座	○	○	○	○		○			
	各種広報媒体を活用した広報活動	○	○	○	○		○			○
	オーラルフレイル予防研修会				○	○	○			
	各種表彰制度による歯科保健活動の推進									
	栃木県歯科保健賞	○	○	○	○		○	○		○
	よい歯のコンクール（親と子・三歳児）　※中止	○					○		○	○
	よい歯の優良学校コンクール		○				○	○		○
	よい歯の図画・ポスター、作文、標語コンクール		○				○	○		○
	とちぎ歯の健康センター事業									
	健康相談	○	○	○	○		○			○
	普及啓発	○	○	○	○		○			○
	地域歯科保健普及事業	○	○	○	○		○		○	○
２ 歯や口腔の健康に関係する啓発と検診の普及	永久歯等対策事業（保育所・幼稚園・障害児通所施設等）	○				○	○			○
	歯周疾患検診受診勧奨モデル事業			○	○	○	○		○	
	歯と全身の健康に関する研修会	○	○	○	○	○	○			
	妊産婦歯科健康診査、相談指導	○		○					○	
	乳幼児の歯科保健に関する相談指導	○							○	
	１歳６か月児歯科健康診査、相談指導	○							○	
	２歳児歯科健康診査、相談指導	○							○	
	３歳児歯科健康診査、相談指導	○							○	
	学校歯科検診等		○					○		○
	歯周病検診(40・50・60・70歳）※健康増進法に基づく事業			○	○				○	
	歯周病検診　※健康増進事業外			○					○	
	歯科健康相談、健康教室（65歳未満の成人）			○					○	
	口腔機能の維持向上に関する事業（介護予防事業等）				○				○	
３ 障害者･要介護者への歯科保健医療サービスの確保	障害者歯科診療事業					○	○			○
	障害者歯科医療システムの運用					○	○			○
	永久歯等対策事業（再掲）	○				○	○			○
	福祉施設巡回歯科相談・指導事業					○	○			○
	在宅歯科医療推進事業					○	○			○
	多職種連携による口腔機能向上支援体制整備事業				○	○	○			○
	障害者及び高齢者のオーラルフレイル等対策事業				○	○	○			○
４ 歯科保健医療提供体制の整備	歯科衛生士再就職支援事業						○			○
	医科歯科連携推進事業	○	○	○	○	○	○			○
	歯科保健推進協力交付金	○	○	○	○	○	○			
	栃木県歯科保健推進協議会	○	○	○	○	○	○			
	とちぎ歯の健康センター運営等協議会	○	○	○	○	○	○			

Ⅲ　県の歯科保健対策事業

１ 歯や口腔と関係する病気等の予防の推進関連事業

歯や口腔の病気の予防は、全身の健康づくりや疾病等の予防の観点からも重要であることから、歯や口腔の病気の予防等の各施策を効果的に進めるため、情報収集や提供、普及啓発などに関する事業を実施しました。

（１）栃木県口腔保健支援センター事業

県民の口腔機能の維持向上を目指して、平成 28 年４月、健康増進課内に「栃木県口腔保健支援センター」を開設し、市町や関係機関等と連携しながら歯科保健対策の企画立案や助言指導などを行っています。

〔人員体制〕・センター長　：健康増進課長
・センター職員：歯科医師（１名）、歯科衛生士（１名）

①　県政出前講座

県民からの要望に応じて、県政出前講座を行いました。

実施時期	内容	対象施設・団体等	参加者数
４月	歯と口腔の健康づくり	栃木県シルバー大学校　北校・中央校・南校	85 名
６月		栃木県シルバー大学校　中央校・南校	70 名
９月		パーソルテンプスタッフ（株） 宇都宮市就労準備支援事業所	12 名
		高根沢町立阿久津中学校	60 名
10 月		宇都宮市老人福祉センター　ふれあい荘	18 名
11 月		栃木県シルバー大学校　北校	17 名
12 月		栃木県職員退職者会	37 名
		栃木県シルバー大学校　中央校	57 名
１月		更生保護法人　尚徳有隣会	31 名
		栃木県シルバー大学校　南校・中央校	55 名
２月		栃木県シルバー大学校　北校	18 名
３月		栃木県シルバー大学校　北校・中央校・南校	72 名

②　各種広報媒体を活用した広報活動

ラジオ等の広報媒体を活用し、広く県民に普及啓発を行いました。

実施時期	媒　体　等	番組テーマ・広報紙配布先
６月	とちぎテレビ／県政ひとくちメモ	歯と口の健康週間
３月	歯科健診受診勧奨に関する啓発リーフレット 18,000 部作成	各市町・ 栃木県保険者協議会構成団体等

③　多職種連携によるオーラルフレイルの予防講演会

市町、歯科保健従事者を対象に、多職種連携によるオーラルフレイル予防に関する研修会を開催しました。

実施日	内容・講師	会場	参加者数
3月 14 日	○「オーラルフレイルの理解と地域での対応」 公益社団法人日本歯科医師会 前常務理事 公益社団法人 8020 推進財団 専務理事 小玉　剛　氏	栃木県総合文化センター	77 人
	○「栄養を中心としたオーラルフレイルの予防と実践」 公益社団法人東京都栄養士会 会長 学校法人駒沢女子大学人間健康学部健康栄養学科 教授 西村　一弘　氏		

（２）各種表彰制度による歯科保健活動の推進

歯科保健活動の優良事例を表彰することにより、さらなる歯科保健活動を推進しました。

栃木県歯科保健賞

栃木県歯科保健賞は、昭和 52 年に栃木県歯科医師会が第 29 回保健文化賞を受賞したことを記念して創設されたものです。県内における歯科保健衛生の分野で、優れた業績を挙げた団体及び個人の功績に対して顕彰を行いました。

団体の部	小山歯科衛生士専門学校
個人の部	土屋　秋夫（歯科技工士）
	山名　洋子（歯科衛生士）

①　親と子のよい歯のコンクール・三歳児よい歯のコンクール

親と子の口腔衛生の向上及び普及啓発を図るため、３歳児健診を受診した幼児及びその親を対象に、コンクールを実施していましたが、厚生労働省が主催する全国コンクールが廃止されたことに伴い、県主催のコンクールも令和５年度に廃止いたしました。

②　よい歯の優良学校コンクール

児童生徒の歯科保健の向上発展を図るため、栃木県教育委員会・栃木県歯科医師会との三者共催でコンクールを行い、定期健診の結果（むし歯数・処置歯率等）や学校歯科保健活動の状況などを総合的に審査し、優良学校を表彰しました。

審査結果

区分	参加校	栃木県知事賞	栃木県議会議長賞	栃木県教育長賞	栃木県医師会長賞	栃木県歯科医師会長賞	入選
小学校	124 校	１校	２校	３校	３校	９校	26 校
中学校	38 校	１校	２校	３校	３校	９校	７校

受賞校

区　分	小学校の部	中学校の部
栃木県知事賞	栃木市立西方小学校	宇都宮市立鬼怒中学校
栃木県議会議長賞	栃木市立寺尾小学校	栃木市立西方中学校
	宇都宮市立富屋小学校	那須町立那須中学校
栃木県教育長賞	宇都宮市立城東小学校	宇都宮市立横川中学校
	栃木市立真名子小学校	栃木市立寺尾中学校
	日光市立鬼怒川小学校	宇都宮市立一条中学校

栃木県医師会長賞	宇都宮市立宮の原小学校	さくら市立喜連川中学校
	栃木市立家中小学校	栃木市立藤岡中学校
	宇都宮市立峰小学校	足利市立第一中学校
栃木県歯科医師会長賞	上記　９校	上記　９校

③ よい歯の図画・ポスター、作文、標語コンクール

歯と口の健康週間事業の一環として、小中学校の児童から歯科保健に関する図画・ポスター、作文、標語を募集し、優れた作品を表彰しました。

審査結果

区　分		特選	入選
図画ポスター	小学校	２点	20 点
	中学校	１点	11 点
作　文	小学校	２点	16 点
	中学校	１点	6点
標　語	小学校	２点	19 点
	中学校	１点	9点

「図画ポスター」受賞者

小学校の部　特選	鹿沼市立菊沢東小学校	１年　鈴木　春希
	日光市立今市小学校	６年　仁村　葵
中学校の部　特選	高根沢町立阿久津中学校	２年　涌井　ひより

「作文」受賞者

小学校の部　特選	栃木市立国府北小学校	３年　海老原　拓真
	宇都宮市立中央小学校	６年　豊田　芽生子
中学校の部　特選	塩谷町立塩谷中学校	３年　若井田　愛凜

「標語」受賞者

小学校の部　特選	日光市立落合東小学校	３年　柴田　紗希
	下野市立国分寺東小学校	４年　小林　篤季
中学校の部　特選	那須烏山市立南那須中学校	２年　荒井　香音

２　歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及関連事業

県民自らが歯や口腔の健康づくりの重要性を理解し、実践的に取り組めるよう、学習や歯科検診の機会を提供しました。

（1）永久歯等対策事業

県内の保育所・幼稚園等（認定こども園を含む）、障害児通所施設、盲・聾・特別支援学校の幼児と保護者等を対象に、歯科衛生士が「六歳臼歯の重要性」の説明や歯科保健指導を行いました。

種　別	実施回数	対象者数
保育所・幼稚園等	54 回	1,679 人
障害児通所施設	13 回	156 人
盲・聾・特別支援学校	12 回	191 人
合　計	79 回	2,026 人

（2）歯周疾患検診の受診勧奨モデル事業

市町が実施する歯周疾患検診の受診率向上を目的として、ナッジ理論を用いて効果的に受診勧奨するためのモデル事業を実施し、効果検証を行いました。

モデル市町	栃木市
	那須烏山市

（3）歯や口腔と全身の健康に関する研修会

市町歯科保健担当者等を対象に、歯や口腔と全身の健康に関する研修動画を制作し、配布しました。

3　障害者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保関連事業

歯科健診等を受けることが難しい状況にある障害者や要介護高齢者等に対して、歯科保健医療サービスを確保するための事業を実施しました。

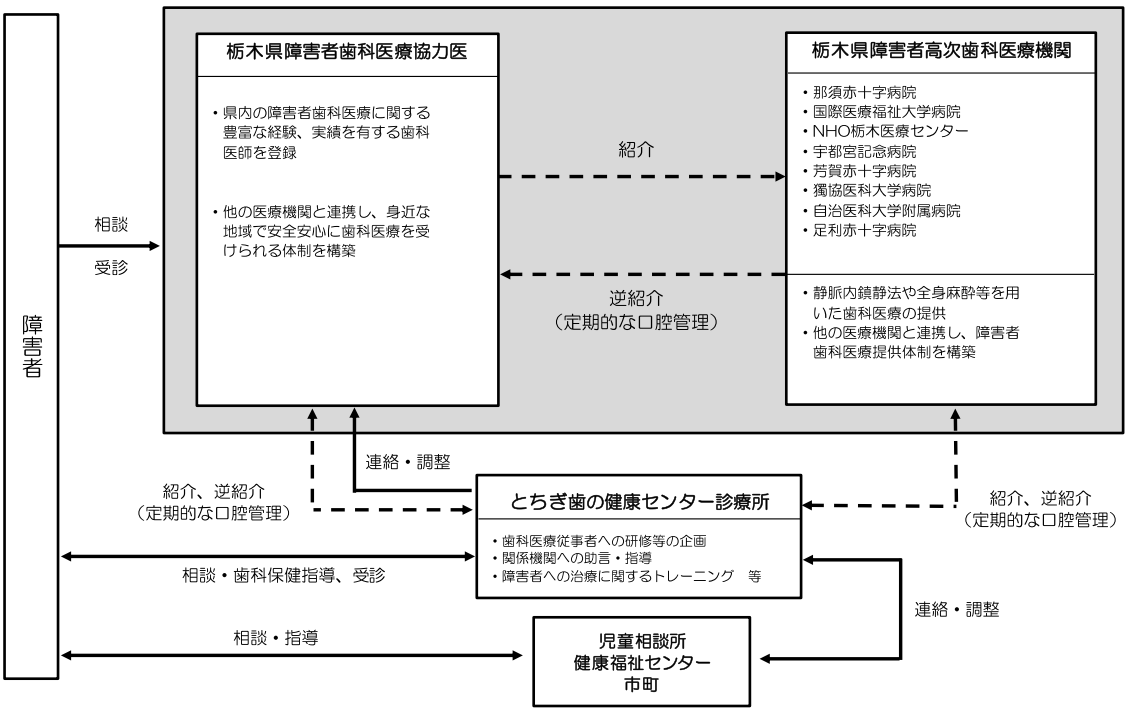
（1）とちぎ歯の健康センター診療所

１階の診療所において、障害者を対象に歯科診療を実施しました。（P２参照）

（2）栃木県障害者歯科医療システムの運用

障害者が住み慣れた身近な地域の中で歯科医療を受けられるようにするため、平成 28 年４月に構築した「栃木県障害者歯科医療システム」の円滑な運用を推進しています。

栃木県障害者歯科医療システム図　（H28.4～）



① 栃木県障害者歯科医療協力医の登録

障害者が住み慣れた身近な地域で適切な歯科医療を受けることができるよう、障害者歯科医療に取り組む県内の歯科医師を「障害者歯科医療協力医」として登録しています。

栃木県障害者歯科医療協力医の登録及び医療の提供状況

2次保健医療圏	県北	県西	宇都宮	県東	県南	両毛	合　計
協力医登録者数	14 人	26 人	17 人	7 人	30 人	18 人	112 人
患者実数	119 人	568 人	474 人	81 人	706 人	847 人	2,795 人

② 栃木県障害者高次歯科医療機関の指定

・高次歯科医療機関の指定状況〔令和６(2024)年４月１日現在〕

那須赤十字病院、国際医療福祉大学病院、NHO 栃木医療センター、宇都宮記念病院、芳賀赤十字病院、獨協医科大学病院、自治医科大学附属病院、足利赤十字病院

・患者受入等状況

種　別	外来新患数	静脈内鎮静法	全身麻酔	紹介患者受入数	逆紹介患者数
実　績	646 人	622 件	1,368 件	342 人	263 人

③ 障害者高次歯科医療機関による研修会の開催

障害者高次歯科医療機関において、障害者歯科医療に関する知識の普及と連携促進のため、障害者歯科医療協力医を対象に研修会を開催しました。

実施日	内容	講師	会場	参加者数
2月 18 日	① 講習会(歯科医療における医療安全、診療時の配慮すべき状態、実症例での応急処置について等) ② 実習(緊急時の救急処置など)	社会福祉医療法人 中山会 宇都宮記念病院 歯科口腔外科 副科長 石川 美香 氏	宇都宮記念病院	歯科医師、歯科衛生士、その他 計 16 名

（３）福祉施設巡回歯科相談・指導事業

高齢者の入所施設を訪問し、入所者の歯科健診、職員対象の口腔ケア研修等を実施しました。

種　　別	歯科健診		口腔ケア研修（H30～）	
	実施回数	受診者数	施設数	受講者数
障害者支援施設	３回	83 人	３施設	38 人
特別養護老人ホーム	８回	190 人	６施設	60 人

（４）在宅歯科医療推進事業

在宅歯科医療を推進するための各種事業を実施しました。

① 在宅歯科医療連携室

在宅歯科医療に関する相談や診療所の紹介、ポータブル歯科医療機器の貸出などを行う「在宅歯科医療連携室」の運営費に対して助成を行いました。

区　分	相談対応	機器貸出
件　数	36 件	96 件（診療件数：12,716 件）

② 在宅歯科医療従事者研修

実施日	内容	講師	会場	参加者数
12月17日	「オーラルフレイル：発案から今後の展望まで」	東京都健康長寿医療センター病院歯科口腔外科部長 平野　浩彦　氏	栃木県歯科医師会館（WEB併催）	71名
2月25日	「在宅における歯科医療の本領～食べるを支えるために何をすればよいか～」	佐川歯科医院 院長　佐川　敬一朗　氏	栃木県歯科医師会館（WEB開催）	63名
合計			２回	134名

③ 在宅歯科・障害者歯科医療協力医等人材育成事業

障害者や要介護者の歯科医療の中心を担う日本障害者歯科学会認定医の資格を取得するため必要な臨床経験を積むための経費の一部に対して助成を行いました。

区　分	対象者	対象日
件　数	２人	19日

（５）多職種連携による栄養指導・口腔機能向上支援体制整備事業

① ミールラウンド・モデル事業

多職種連携推進のモデル事業として、特別養護老人ホームに歯科医師と歯科衛生士を派遣して食事観察（ミールラウンド）等を実施し、入所者の口腔健康管理に関する助言・指導を行いました。

実施日	実施施設	参加者
12月7日＊	特別養護老人ホーム 敬愛荘	派遣者　：歯科医師１名、歯科衛生士１名 施設職員：管理栄養士２名、看護職員１名、介護職員１名、その他施設職員２名
1月17日		
2月21日		
3月13日		

＊初回は、打ち合わせ

（６）障害者及び高齢者のオーラルフレイル等対策事業

① 口腔ケア推進研修会

障害福祉サービス等を提供する施設・事業所における新任職員等を対象に、オーラルフレイル予防や口腔機能維持のため、口腔ケアの基礎的な知識や技術の普及を図るための研修を開催しました。

実施日	内容	講師	会場	参加者数
1月25日	口腔ケアの基礎知識や初歩的な手技について	歯科衛生士 山名　洋子　氏 他　歯科衛生士	とちぎ歯の健康センター３階研修室	13名
2月15日				30名
3月17日				28名

② フレイル予防アドバイザー養成研修会

地域の通いの場等においてオーラルフレイル予防の啓発を行う、フレイル予防アドバイザー（歯科衛生士等）を養成する研修会を開催しました。

実施日	内容	講師	会場	参加者数
2月　4日	オーラルフレイル予防について	栃木県歯科医師会 理事　駒橋　武　氏	栃木県歯科医師会館 （WEB 開催）	65 名
3月 17 日				32 名

４　歯科保健医療提供体制の整備関連事業

県民の生涯にわたる健康の保持増進を図るため、保健、医療、福祉、教育等関係者の資質向上や連携強化に取り組みました。

（1）歯科衛生士再就職支援事業

① 出産・子育て等を理由に離職した歯科衛生士の再就職を支援するため、研修を開催しました。

実施日	内容	講師	会場	参加者数
2月 25 日	口腔ケアの実際	歯科衛生士 山名　洋子　氏	とちぎ歯の健康センター １階診療室	中止
3月 10 日	思い出してみよう診療補助 ～手洗いからスケーリング・ Tec 作成まで～ ※TBI・PMTC・印象採得など （相互実習）	歯科衛生士 星野　小百合　氏	とちぎ歯の健康センター １階診療室	２名
3月 17 日	歯周病治療と定期受診について ～保険診療に沿った流れ～	栃木県歯科医師会 常務理事 坂入　道子　氏	栃木県歯科医師会館 （WEB 併催）	11 名

② 歯科衛生士の離職防止及び再就職を支援するため、「歯科医院向け働き方改革推進セミナー」を開催しました。

実施日	内容	講師	会場	参加者数
２月　１日	『診療所の「働き方改革」への対応と労務管理の基本』	社会保険労務士法人 ユアサイド 代表社員 中宮　伸二郎　氏	栃木県歯科医師会館 （WEB 開催）	23 名
２月 29 日	『健全経営と戦略的マーケティング～歯科衛生士の業務範囲を踏まえた上でのメンテナンス型歯科医院経営について～』	認定登録 医業経営コンサルタント 鈴木　竹仁　氏		16 名

（2）医科歯科連携推進事業

歯と口腔の病気は、生活習慣病の発症や進行などと深く関わっていることから、医師と歯科医師が連携（以下「医科歯科連携」という。）して患者の治療に取り組むことが求められています。

① 糖尿病診療における医科歯科連携の推進

糖尿病の人が歯周病の治療をすると血糖値が改善することがあるため、「糖尿病治療連携マニュアル」（平成 28 年３月作成）に基づき、糖尿病の初期・安定期治療を担う医療機関と歯科診療所との間における患者紹介や治療に関する情報共有を推進しています。

年　度	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	R１ (2019)	R２ (2020)	R３ (2021)	R４ (2022)
糖尿病診療における医療機関と歯科診療所との連携状況	20.0%	20.9%	23.2%	18.6%	24.2%	20.2%	24. 5%

② がん患者の治療に関わる医科歯科連携の推進

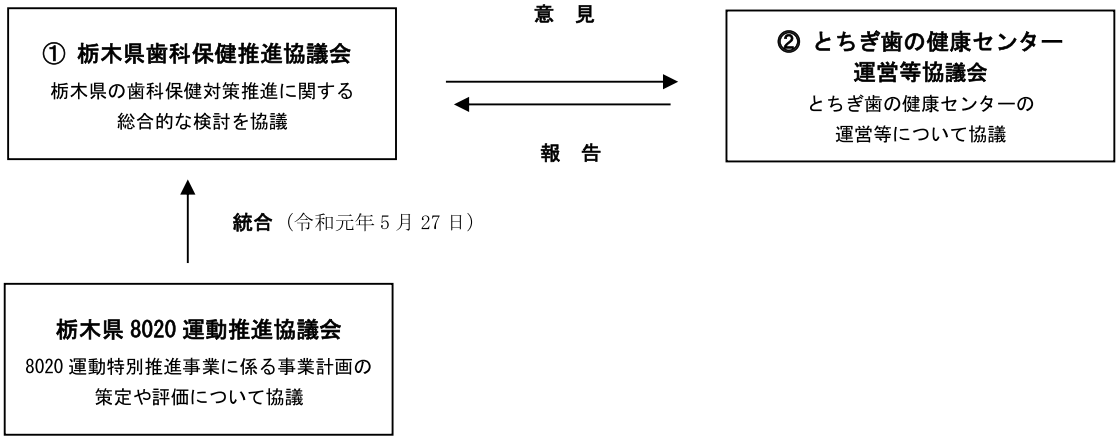
がん治療に伴い、口腔内には様々な合併症が出現することがあり、その合併症の予防と治療（以下「周術期の口腔機能管理」という。）には、医科歯科連携が重要です。栃木県立がんセンターでは、がん患者に対する周術期の口腔機能管理が円滑に行われるよう、地域の歯科診療所を対象に研修を行っています。

（3）歯科保健推進協力交付金

（一社）栃木県歯科医師会が行う歯科保健対策推進事業に対し支援を行いました。

（4）歯科保健対策関連協議会

歯科保健対策事業の充実を図るため、２つの協議会を設置しています。



① 栃木県歯科保健推進協議会

様々な分野の専門家を協議会委員に委嘱し、総合的な歯科保健対策事業について協議しました。

第１回

・日　時：令和５（2023）年８月 10 日
・場　所：栃木県庁９階会議室３
・議　題：県民の歯及び口腔の健康状況について　他

第２回

・日　時：令和５（2023）年 11 月７日
・場　所：栃木県庁東館４階講堂
・議　題：栃木県歯科保健基本計画（２期計画）の評価等について　他

栃木県歯科保健推進協議会委員 〔任期：R４（2022）．７．６～R７（2025）．７．５（３年間)〕

	氏　名	所属・役職等
1	大 野 克 夫	栃木県歯科医師会 会長
2	植 原 雅 章	栃木県歯科医師会　副会長
3	手 束 公 一	栃木県歯科医師会　副会長
4	依 田 祐 輔	栃木県医師会 常務理事
5	中村美智子	栃木県歯科衛生士会 会長
6	続 橋 正 喜	栃木県歯科技工士会 会長
7	岡 上 隆 史	栃木県老人福祉施設協議会 理事（特別養護老人ホーム宮の里ふじおか　施設長）
8	山　口　洋	栃木県保育協議会 副会長
9	櫻 井 光 一	栃木県町村会（茂木町保健福祉課長）
10	今 里 澄 江	栃木県市町保健師業務研究会 副会長 （足利市健康増進課保健検診担当　保健師長（主幹級））
11	鈴 木 信 晴	中核市（宇都宮市保健所健康増進課長）
12	冨 永 剛 彦	栃木産業保健総合支援センター 副所長
13	佐 藤 敏 子	栃木県栄養士会 会長
14	鈴木 美恵子	栃木県食生活改善推進員協議会 会長
15	中 山 竜 司	栃木県立衛生福祉大学校　歯科技術学部長

（R6.3.31 現在）

② とちぎ歯の健康センター運営等協議会

とちぎ歯の健康センターを拠点とした障害者歯科診療、巡回歯科相談・指導、歯科保健に関する相談・指導及び普及啓発等に関する事業の実施内容の充実について協議しました。

・日　時： 令和６（2024）年３月６日
・場　所： WEB 開催
・議　題
(1) とちぎ歯の健康センター事業概要について
(2) 令和５（2023）年度事業実施状況について　他

とちぎ歯の健康センター運営等協議会委員〔任期：R４(2022)．３．１～R７(2025)．２.28(３年間)〕

	氏　名	所属・役職等
1	若　林　　守	栃木県歯科医師会 専務理事
2	長　島　啓　智	栃木県歯科医師会 常務理事
3	駒　橋　　武	栃木県歯科医師会 理事
4	中 村 美 智 子	栃木県歯科衛生士会 会長
5	安　部　孝　子	栃木県手をつなぐ育成会　理事
6	峯　山　敏　正	栃木県障害施設・事業協会　副会長

（R6.3.31 現在）